

【市民活動サポートセンター事業の報告】

サポセン講座



須賀川市民活動サポートセンターでは、登録団体の活動の向上等を目的にサポセン講座を開催しています。

今回は、福島県との共催で、認定NPO法人藤沢市民活動推進機構理事長、手塚明美氏を講師にお招きして「助成金活用講座」を開催したところ、会場・オンライン合わせて21名が受講しました。

本講座では、助成金の種類や特徴、審査する側からの視点を据えた申請書の書き方やアイデアなどについて説明していただき、助成金申請にあたってのポイントや事業計画を具体的に考えるきっかけとなりました。

活動名 第12回サポセン講座「助成金活用講座」

場所 市民交流センターtette ルーム1-1

日にち 令和6年11月28日(木)

サポセンカフェ



須賀川市民活動サポートセンターでは、登録団体間の情報・意見交換など交流の場として「サポセンカフェ」を開催しています。

今回は、「須賀川赤十字奉仕団」を講師に「知ってみよう!体験してみよう!」をテーマに行いました。

はじめに、「須賀川赤十字奉仕団」が防災訓練などの際に作っている炊飯袋を使用した非常食の「蒸しパンづくり」を体験しました。その後、完成した蒸しパンと市民交流センター内にあるチャレンジショップのコーヒーをいただきながら、「須賀川赤十字奉仕団」の歳末助け合い運動などの募金活動や各施設のボランティア作業などの日頃の活動の様子を発表していただき意見交換を行いました。

参加者からは、「とても簡単に作れたので、もしもの時の為に自宅でも実施してみたい。」「団体の活動を理解することができた。」など各団体と交流ができて良かったという意見が寄せられました。

活動名 第15回サポセンカフェ「知ってみよう!体験してみよう!」

場所 市民交流センターtette クッキングルーム・ルーム3-3

日にち 令和7年2月8日(土)

須賀川市民活動サポートセンター(須賀川市民交流センターtette1階)

〒962-0845 須賀川市中町4-1

TEL.0248-73-4407 FAX.0248-73-4410 <https://s-tette.jp>

市民活動に関する相談 9:00~17:00

交流スペースの使用 9:00~21:00(日、祝日は20:00まで)

サポセンだよりをwebでご覧になる方は
こちらから(イベント詳細もこちらから)



須賀川市民活動サポートセンター サポセンだより

Vol.
80
2025.3



表紙

すかがわ昔話の会 第100回記念「風流の民話館」

すかがわ昔話の会は、須賀川市及びその周辺地域の民話を拾い集め、方言で語ることで、民話に込められた先人の思いを次世代へ伝承することを目的として活動をしています。

今回は、県内の歴史や民話について語る「芭蕉すかがわ民話館」として始まった、本イベントの第100回記念として開催され、ふくしま四人会、郡山民話語り部の会も特別出演し「100」にちなんだ数字にまつわる昔話や紙芝居を披露しました。

また、特別ゲストとして、NHKドラマ「エール」で方言指導を務めた須賀川市出身の俳優、相楽孝仁氏が民話「空を飛んだかめ」を披露し臨場感あふれる語りで聴衆を魅了しました。

特集

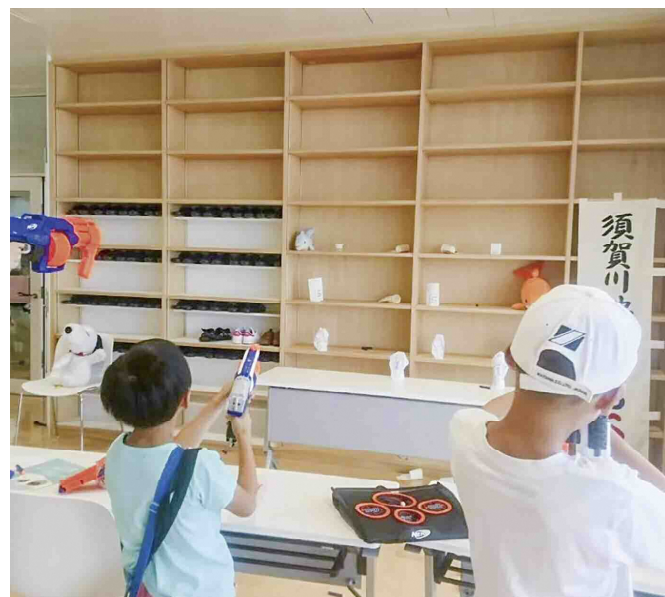
～市民のチカラ～ ・須賀川地区BBS会

～サポセンレポート～

・そらいろのたね ・須賀川民舞愛好会 ・合唱団「あいりす」 ・キッズ・オハナ ・須賀川シニアリーダーズクラブ ・NPO 法人お結

～市民活動サポートセンター事業報告～ ・サポセン講座 ・サポセンカフェ

市民のチカラ 須賀川地区BBS会



活動の きっかけ

私たち須賀川地区BBS会は、子どもたちを取り巻く環境が急速に変化していく現状において、子どもたちに寄り添い、健全な育成や非行防止の助けとなることを目的に、保護司会や更生保護女性会の皆様の協力のもと、平成25年5月に発足し活動を始めました。

主な活動

「BBS」とは「Big Brothers and Sisters」の頭文字で、和訳すると「お兄さん・お姉さんの会」という意味になります。その名の通り、お兄さん・お姉さんとして子どもたちと接し、共に遊び、そして共に語ることで、共に成長していくことを目指して活動しています。現在は、主に須賀川市内で行われているイベントなどに出席させていただき、「でみぐらすぽっと」という名前のフリースペースを開放し、子どもたちと一緒にテレビゲームやボードゲームなどで遊んでいます。また、福島保護観察所などで行われる研修会等に参加し、活動していくために必要な知識の研鑽に努めています。そのほかには、他の更生保護団体と協力しながら、更生保護に関する啓発活動も実施しています。

活動の中で よかったこと

平成25年から活動を行ってきた私たちですが、活動の中で多くの子どもたちと接してきました。そうした子どもたちの中には、大きく成長し、今では私たちの会員として活動してくれている人もいます。彼らが頼もしいお兄さん・お姉さんとして次の世代の子どもたちと接している姿を見て、長年活動してきたメンバーの心に深い喜びが沸き上がりました。そして私たちの活動は社会に必要なものなのだと感じることができました。

今後の抱負

現在SNSの急速な発展や社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。複雑化していく環境のなかに身を置かれた子どもたちの中には、息苦しさや生きづらさを感じている子どもも多くいます。そうした子どもたちに寄り添い、一人でも多くの子どもが人生に喜びを感じながら自分らしく生きていけるよう、今後もお兄さん・お姉さんとして手助けをしていきたいと考えています。そして、活動のバトンを将来のお兄さん・お姉さんたちに繋いでいき、誰もが前向きに生きていくことができる明るい社会の実現を目指していきたいと思っています。

サポセンレポート

今号では令和6年11月からの活動をお届けします。各団体とも、様々な工夫を凝らしながら活動を行っています。各団体の活動に興味のある方は、サポートセンターへご連絡ください。

01 そらいろのたね 「みんなの学校」上映会



子ども達の健全育成を目的に、豊かな直接体験の場を提供する活動をしています。新たな取り組みの1つとして、「どんな人でも気軽に集い憩うことで明日からの元気の種になれたらいいな」という思いから、地域の居場所づくり事業「明日のたね」を始めました。様々な個性をもつ子ども達1人ひとりが大切にされ、分け隔てなくみんなで一緒に学びあっていこうというインクルーシブ教育を実践する小学校のドキュメンタリー映画「みんなの学校」を上映しました。参加者からは、「地域全体として子ども達をサポートすることの大切さを知りました。」などの感想が寄せられていました。

場所 市民交流センターtette でんぜんホール
日にち 令和6年11月24日(日)

03 合唱団「あいりす」 「第10回こころの歌コンサート」



合唱団「あいりす」は、健康維持のため、合唱を通じて団員の親睦を図り、質の向上に努め、合唱音楽の普及・発展を図ることを目的に活動しています。今回は、第10回こころの歌コンサートを開催しました。本コンサートは2部構成で、第1部では「ずいずいずっころぼし」「ふるさと」など、第2部では「中国地方の子守歌」「心の瞳」など、全19曲を披露しました。また、会場の方々と全体歌唱として「野に咲く花のように」を歌う場面もあり、大いに賑わっていました。

場所 市民交流センターtette たいまつホール
日にち 令和6年12月22日(日)

05 須賀川シニアリーダーズクラブ 「二十歳のつどい」



須賀川シニアリーダーズクラブは、会員相互の協力と研鑽により子ども育成会の指導に当たる活動を通じて自己形成を図り、会員相互の親睦、融和と明るく住み良い地域づくりに寄与することを目的に活動しています。今回は、「子どもの祭典」や「サポセンフェスティバル」で行っているバルーンアートについて、須賀川市二十歳のつどい実行委員会から協力依頼があり、フォトスポットで写真を撮ってくれていたと聞いて一生懸命作ったかきが良かったです。

場所 須賀川市文化センター ロビーホワイエ
日にち 令和7年1月11日(土)

02 須賀川民舞愛好会 「ふくしま鉄道博」



須賀川民舞愛好会は、民舞を通じて会員相互の親睦を図るとともに、郷土須賀川市の文化の向上に寄与し、社会的交流を深めながら健康に付することを目的に活動しています。

今回は、水郡線全線開通90周年記念「ふくしま鉄道博」のステージに参加してきました。ステージイベントでは、水郡線沿線地域の歴史や名所の魅力を再発見していただく思いを込めて、地域で愛され繋がられてきた「須賀川小唄」や「東白音頭」などの歌と踊りを披露しました。

場所 磐城塙駅・勤労福祉会館(塙町役場となり)
日にち 令和6年12月1日(日)

04 キッズ・オハナ 「お正月飾り」



キッズ・オハナは、お花に興味のある子どもたちに気軽に「いけばな」を体験してもらうことを目的に活動しています。

今回は、「親子いけばな教室」を開催し、お正月飾りづくりを行いました。子どもたちは、先生からの指導を聞き、生のお花に触れながら、自分だけの作品をつくりあげることができ、楽しい時間を過ごすことができました。

場所 市民交流センターtette ルーム3-2
日にち 令和6年12月22日(日)

06 NPO法人お結 「お結 着物会」



NPO法人お結は、充実した生涯を送るためのサポート(異業種交流や縁づくり)を図る活動をしています。

今回は、着る機会がなく自宅などでそのままになっている着物を上手に活用し、日本の文化を知り広めながら人々の交流に繋がることが目指して、はじめて「お結 着物会」を行いました。今後も、自分で着付けができるようになることを目標に活動を続けていきます。

場所 市民交流センターtette たたみルーム
日にち 令和7年1月26日(日)